

事例 22 地域と連携した「日本美しい森 お薦め国有林」の利用環境の整備

(北海道森林管理局 檜山森林管理署)



- 北海道爾志郡(にしぐん)乙部町(おとべちょう) 富岡(とみおか)国有林
- (左) 連理(れんり)の木「縁桂(えんかつら)」(令和4年9月)
- (右) 縁桂森林(えんかつらもりもり)フェスティバルの様子(令和4年9月)

檜山森林管理署管内にある「日本美しい森 お薦め国有林」の「縁桂風景林」は、ブナ、イタヤカエデを主とした天然林とトドマツ、カラマツ等の人工林からなり、山麓には「森の巨人たち百選」に選定されている「縁桂」があります。この「縁桂」は隣接する2本の桂の木が枝で連結している「連理の木」として知られ、縁結びの木として多くの人々が訪れる名所となっています。

檜山森林管理署では、乙部町を主体とした縁桂レクリエーションの森協議会と連携して、歩道の整備及び管理を実施しており、令和4年度には、老朽化が目立っていた木橋を再整備しました。

また、令和4年9月に開催された「縁桂森林フェスティバル」では、あいにくの雨にも関わらず、多くの来場者が訪れました。